

東林館高等学校 通信教育実施計画

科目名(単位数)		現代の国語(2)			
対象年次		期別	必要面接時数	レポート数	
原則1年次		通年	2	6	
科目の概要	社会人として生涯にわたって必要な、国語の資質・能力の基礎を確実に身につけるための科目である。				
科目の目標	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。</p> <p>(1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>				
年間学習計画・学習のねらい	学習内容	到達目標	スクーリング回	レポート回	試験範囲
	自己を見つめる	・筆者独自の考え方を読み取り、人それぞれが持つ意識の世界に思いをはせるとともに、自分に当てはめて考える。	1	1	前期
	他者に出会う	・評論の書かれ方を理解し、読み方を知る。 ・対比による強調から、筆者の主張を読み取る。		2	
	言葉と生活1 視野を広げる	・分かりやすい説明のポイントを理解する。 ・複数の文章を読み比べ、自分の考えを深める。 ・文章中の具体例の役割を押さえながら読み、筆者の価値観と主張をつかむ。		3	
	社会と関わる	・働くことについて書かれた文章を読み筆者の思いに触れ、働くということについて考える。 ・調べたことを整理して、考えたことを分かりやすくまとめる。	2	4	後期
	言葉と生活2	・思考・発想を広げる方法について確認する。 ・発想を広げてアイデアを整理し、まとめる。 ・意見文を書いた例を参考に、意見文の書き方を確認する。		5	
	言葉と生活2 世界とつながる	・相手意識を持って言葉を選ぶ意識を持つ。 ・推論の仕方を理解し、日常で使えるようになる。		6	
評価方法	<p>年度末の成績評価は下記の通り行う。 レポート:50% スクーリング:15% 試験:35% レポート:教科書や学習書を活用し、取り組むこと。 スクーリング:年間計画に従い、各自で予習・復習に取り組むこと。 試験の得点:追試験の得点は、定期試験の得点と同等には扱わない。</p>				
単位の修得	<p>①レポート:締め切りまでに所定のレポートを提出し、合格すること。 ②スクーリング:年間2時間出席すること。 ③試験:前期試験、後期試験を受けること。</p>				
使用教科書等	新編 現代の国語(東京書籍) 新編 現代の国語 学習書(NHK出版)				
学習上の留意点	スクーリングの進行にあわせて復習をし、レポートに取り組ましましょう。				